

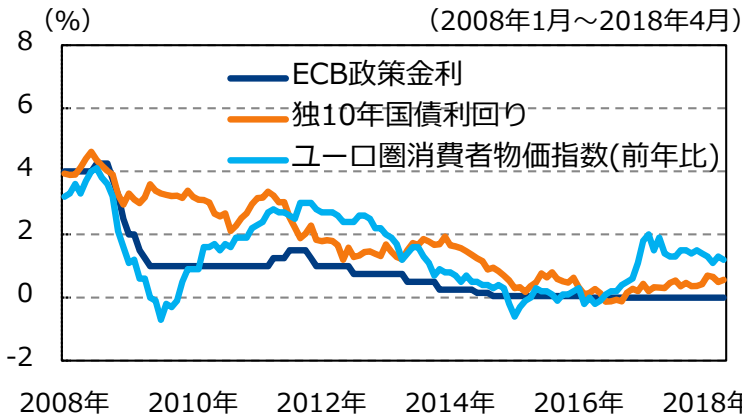
欧州マーケットビュー



- ユーロ圏における2018年1-3月期の実質GDP成長率（2次速報値）は前期比年率+1.6%となり、1年超続いた高成長から減速しました。
- ECBのドラギ総裁は4月理事会の会見で、ユーロ圏経済はこれまでの高成長の反動が見られるものの引き続き堅調との認識を示しました。天候やストライキ、インフルエンザの流行など一時的な要因が影響した可能性を示唆しました。

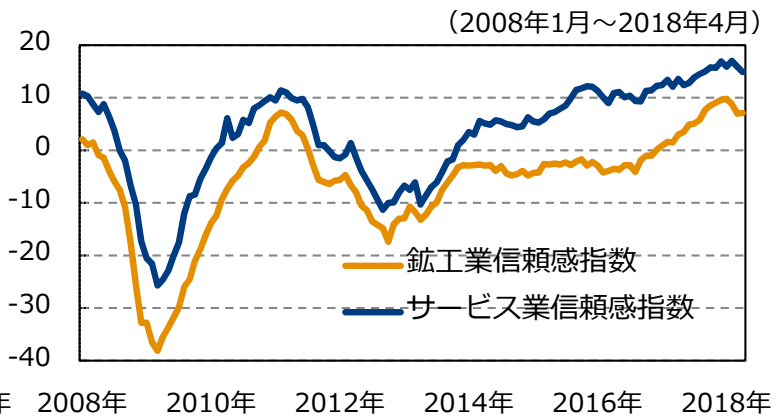
金利とインフレ率

ECB政策金利は0%で据え置かれており、ユーロ圏の物価や長期金利は低位で安定しています。



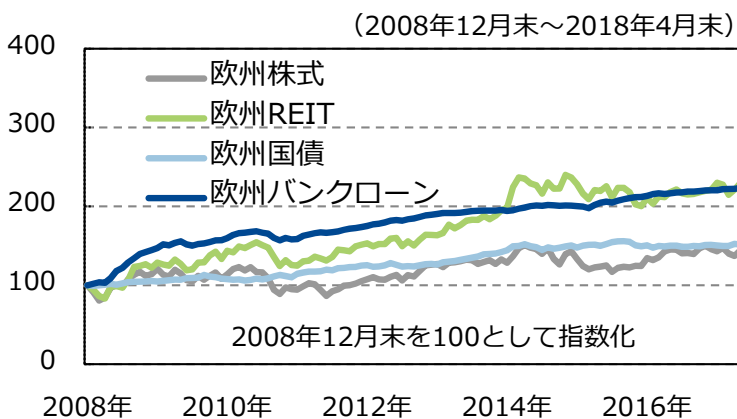
企業景況感

鉱工業信頼感指数、サービス業信頼感指数ともにプラス圏での推移が続いていますが、足元ではやや軟化しました。



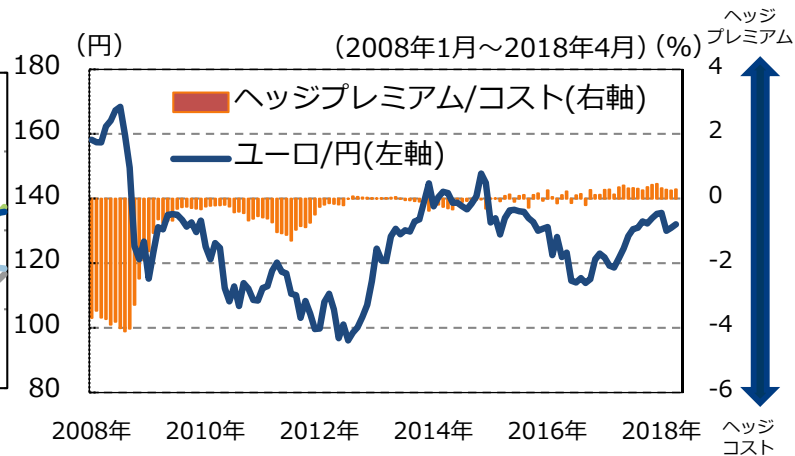
欧州各資産の推移

2008年12月末からの欧州各資産の推移をみると、欧州バンクローンの安定した推移が確認できます。



ユーロ/円及びヘッジプレミアム/コスト

足もとでユーロより日本円の金利が高い状況が続いており、ユーロ円はヘッジプレミアムが生じています。（2018年4月：0.29%）



各種データをもとに大和住銀投信投資顧問作成

※為替ヘッジプレミアム/コストは直物為替レートと期日1ヶ月後の為替予約レートとの価格差（月間平均値）から簡便法により算出

※使用したインデックス

欧州株式：ユーロストックス50指数、欧州REIT：FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index、欧州国債：FTSE欧州国債インデックス、欧州バンクローン：クレディ・スイス・ウェスタン・ヨーロピアン・レバレッジド・ローン・インデックス

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

資産運用のベストパートナー、だいわずみざん
大和住銀投信投資顧問
Daiva SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会